

注意：2018年9月14日時点の二次案（変更される可能性があります）

### **調査部門・技士**

2018. 9. 14

問題	項目	出題の内容
1	地形・地質	ローム台地、河岸段丘、海岸段丘
2	〃	三角州、自然堤防、後背湿地、旧河道
3	土質	特殊土の特徴（有機質土、ローム、黒ぼく、しらす）
4	〃	室内土質試験から求められる地盤定数
5	地盤の液状化	液状化検討対象層、液状化による被害傾向
6	事前調査	地形図、地質図、土地条件図、ハザードマップ
7	読図	右岸/左岸、堤内地、中州、網状流路
8	現地踏査	敷地の高低差、傾斜、擁壁や盛土の確認、
9	SWS試験	SWS試験の特徴（長所、短所）
10	〃	計測機器（載荷荷重、回転速度）、スクリューポイントの形状、JIS規格
11	〃	推定する地盤定数を求める場合の留意点
12	〃	データ整理（ $N_s$ 、 $N_{sw}$ 、 $N$ 値、 $q_u$ 値）
13	〃	追加測点、補足調査の考え方、敷地状況・計測結果から予想される地盤状態
14	各種調査法	標準貫入試験、三成分コーン、ポータブルコーン、大型動的コーン
15	サンプリング	各種オーガーボーリングの種類と特徴
16	試験結果と考察	新規造成地における注意事項、追加調査の選定
17	〃	調査地とSWS結果から読み取れる地形・土質
18	〃	追加調査の選定、調査時に事前に告知すべき事項
19	盛土	盛土の放置期間、経過年数と圧密沈下、最適含水比
20	擁壁	重力式擁壁、片持ち梁式擁壁、空積み造擁壁、増積み擁壁
21	地業・コンクリート基礎	捨てコンクリート地業の目的と留意点
22	表層地盤改良	配合量、改良厚さ、設計基準強度の規定
23	〃	モールドコア供試体の作成と箇所数、品質管理の確認手法
24	柱状地盤改良	近接施工、適用土質、適用深度と改良径
25	〃	搅拌装置、羽根切り回数、スラリーの吐出量、共回り防止版
26	〃	W/C比、モールドコア供試体の作成と箇所数、杭頭処理
27	小口径鋼管	鋼管の材質、支持地盤、細長比、拡底翼径の制限
28	〃	施工管理（鉛直精度、頭部レベル、施工管理値、溶接作業）
29	小口径既製コンクリートパイプ	パイプの形状、最小断面寸法、長さの制限、適用地盤
30	倫理	地盤技術者の瑕疵と責任について